



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」



高岡市立戸出東部小学校
令和7年3月14日発行

「最幸」を求めて

校長

今年度の児童会キャッチフレーズは「やさしい心で思いやり一人一人がかがやく『最幸』の東部っ子」でした。素敵な言葉が並んでいますが、中でも「最幸」という言葉が効いているなあと感心していました。「最高」ではなく、「最幸」なのです。「最高」は、自分として最も高いところまで到達したぞ、という自己満足のようなものを感じます。「最幸」は、さらにそれより尊く、崇高な感じがします。自分だけでなく、相手も、仲間も幸せであることまでを求めているように感じるからです。また、自分だけでは成しえないことを仲間と協力したから得られる充実感や満足感に通じるようにも思えます。さて、東部っ子のみんなは、このキャッチフレーズに近づくことができましたでしょうか。



小学校は、6学年の年齢差のある、様々な個性をもった子供たちの集団社会です。気の合う仲間もいれば、合わない相手もいます。そんな様々な人たちとの暮らしの中で、「最幸」を求めていくには、どんなことが必要でしょうか。自分以外の存在、相手を認める心。相手の立場に立って考える力。手伝ってもらったときには感謝を、悪かったなと思ったときには謝罪の言葉を伝えられる素直さ。他にもあると思います。ぜひ、親子で考えて語り合ってみてください。

私たちは、ご家庭や地域の皆様と共にそのような心や力を育むよう支えてまいりました。今後も子供たち、家族の皆様、そして私たち教職員の「最幸」を求め続けていきたいと思えます。今年度1年間、学校経営にご理解、ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

本棚の中から

図書主任

ファミリー読書にご協力ありがとうございました。今年度もたくさんの子供たちがメディアホールを利用してくれました。担任の先生方に聞いた子供たちに人気の本を紹介します。

- ・1年生「いちにち〇〇」「アニマルバス」シリーズや「はたらく細胞」。病原体を覚えたりノートに書いたりしています。貸出カードに紹介されているので読んでみようとする子が多いです。
 - ・2年生「かいけつゾロリ」「ざんねんな生きもの」。シリーズで人気です。「お手紙」や「スイミー」等、教科書に掲載の筆者の作品も読まれています。
 - ・3年生「星のカービィ（文庫）」。絵本ではなく文庫本を読み始めています。「パンどろぼう」は担任の先生が好きだそうです。身近な人が好きだと興味をもつのもかもしれませんね。
 - ・4年生「銭天堂」「ドラえもん」。夢が叶う、わくわくシリーズものは、続けて読みたくなりますね。
 - ・5年生「霧島くん」「君のとなりで」「ハリーポッター」。厚い長編ものを読む力が付いてきています。恋愛にも興味が出てくる時期です。男子も読んでいます。
 - ・6年生「歴史人物まんが」。社会の学習がきっかけで、興味が出てきているそうです。
- 他にも「ブルーロック」等スポーツ関係の本や、「怖い本」「おばけずかん」等は、どの学年でも人気のようです。

アニメや映画がおもしろかったり、表紙の絵がきれいだったり、友達や家族が読んでるのが気になったりなど、きっかけは様々でよいのです。まずは手に取って、じっくりと活字に親しむ時間を過ごし、心を豊かにしてほしいと願っています。